

私たちの罪を負われた主

2023年4月2日

棕櫚の主日

イザヤ書 52章13節～53章12節 (苦難のしもべ・メシアの預言)

ペテロの手紙Ⅰ 2章22～25節 (" 成就)

主権者なる神の超自然的な特別な方法 ⇒ 罪人を贖い救う ⇒ 神へと立ち帰る

I. 疎外される 1～3節 (52・14～15は53章の序言)

目立たない誕生 (若枝、砂漠の地から生え出る根)

尊ばれない (憧れ、輝き、見とれるような外見は皆無) メシアであるのに

のけ者、軽蔑、悲しみ

生まれ育ち・生涯にわたって苦難の連続

II. 身代わりの死 4～6節

(1)メシアに罪はなかった ⇒ 罪とされたのは罪人の罪を一身に負ったから

「父よ。彼らをお赦し ⇒ 「わが神、わが神、どうして ⇒ 「父よ。わが霊を
ください。」 わたしをお見捨てになった 御手にゆだね

のですか。」

ます。」

(神のさばき)

(2)私たちのそむきの罪 } → 彼への懲らしめ } → 私たちに平安 }
私たちの咎 } 彼の打傷 } 私たちにいやし }

(3)迷っていた羊 ⇒ 羊飼いの元に

自分勝手

おるべき所

III. 完全な服従 7～9節 ドロローサ

(1)弁解しない・つぶやかない 口を開かない

ほふり場に連れて行かれる小羊 毛を刈る者の前の雌羊

神の民のそむきの罪ゆえ、打たれ、絶たれた

(2)悪者ども (ふたりの強盗) と同じ場所で死ぬ (ゴルゴタの丘)

(3)富む者 (アリマタヤのヨセフ) の墓に葬られる

暴虐、欺きがなかったのに

Ⅳ. 贖いの成果 10～12節

(1) 彼を砕き、痛めることは主のみこころ（彼によって成し遂げられる）

私たちのすべての咎を彼に負わせた

自分自身を死に明け渡し、背いた罪人たちの罰を引き受けた

(2) 自分のいのちを自発的に捨てる ⇒ （復活）末長く子孫（信者たち）を見る

(3) しもべ（メシア）は満足する ∵ みこころが自分によって成し遂げられる

×すべての人

多くの人を義とする

多くの人々を彼に分け与えられる（自分のもの）

マルコ 10・45

(4) 背いた人のためにとりなす（復活・昇天・着座）

Ⅴ. わたし（神）のしもべは栄える 52・13

(1) 高められ （墓からよみがえった）

(2) 上げられ （天に昇った）

(3) 非常に高くなる（御座に着座された）

Ⅵ. メシアの十字架上の死と復活は敗北ではなく勝利

(1) 救い主

(2) 大祭司

(3) 王

Ⅶ. 主に召された私たち I ペテロ 2・22～25

(1) キリストに従うように（模範）

(2) キリストは私たちのために苦しみを受けた

罪も欺きもない

悪に報復せず、正しい審判者にお任せになった

十字架上の死をもって、身代わりに罰を受けてくださった

(3) 目的：私たちが罪を離れ、義のために生きる

“ の罪をゆるし、罪という死病からいやし、死の代わりにいのちを授与

(4) 私たちの現状：自分勝手にさまよっていたが、迷子の羊は飼い主・牧者のもとに

帰った 安全・安心・喜び・希望